



# ハードウェア リファレンス ガイド

HP Elite Slice

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

ここに記載されている情報の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。ここに記載されている情報のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。ここに記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。ここに記載されている情報の内容につきましては万全を期しておりますが、ここに記載されている情報の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2016年6月

製品番号：900063-291

## 製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

## ソフトウェア条項


このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。


より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、販売店にお問い合わせください。


## このガイドについて

このガイドでは、HP Elite Slice の機能およびハードウェアのアップグレードの基本的な作業手順などについて説明します。

---

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

---



# 目次

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| <b>1 製品の特長</b> .....                | <b>1</b>  |
| HP Elite Slice の機能 .....            | 1         |
| HP Elite Slice .....                | 1         |
| HP コラボレーション カバー .....               | 3         |
| HP トライバンド無線充電カバー .....              | 4         |
| HP ODD モジュール .....                  | 5         |
| HP オーディオ モジュール .....                | 6         |
| HP VESA プレート .....                  | 6         |
| シリアル番号の記載位置 .....                   | 7         |
| <b>2 セットアップ</b> .....               | <b>8</b>  |
| モジュールの接続または取り外し .....               | 8         |
| モジュールの接続 .....                      | 9         |
| モジュールの取り外し .....                    | 11        |
| 電源の接続 .....                         | 12        |
| 取り付け器具への HP Elite Slice の取り付け ..... | 13        |
| セキュリティ ロック ケーブルの取り付け .....          | 14        |
| 別売の無線キーボードおよびマウスの同期 .....           | 15        |
| <b>3 ハードウェアのアップグレード</b> .....       | <b>17</b> |
| 保守機能 .....                          | 17        |
| 警告および注意 .....                       | 17        |
| アクセスパネルの取り外しおよび取り付けなおし .....        | 18        |
| アクセスパネルの取り外し .....                  | 18        |
| アクセスパネルの取り付けなおし .....               | 19        |
| 内部部品の位置 .....                       | 19        |
| システム メモリのアップグレード .....              | 20        |
| メモリ モジュールの仕様 .....                  | 20        |
| メモリ モジュール スロットへの取り付け .....          | 21        |
| システム メモリ モジュールの取り付け .....           | 22        |

|   |           |
|---|-----------|
| ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け .....                   | 24        |
| <b>付録 A 静電気対策 .....</b>                         | <b>26</b> |
| 静電気による損傷の防止 .....                               | 26        |
| アース（接地）の方法 .....                                | 26        |
| <b>付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意 .....</b> | <b>27</b> |
| コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意 .....              | 27        |
| 運搬時の注意 .....                                    | 28        |
| <b>付録 C ユーザーサポート .....</b>                      | <b>29</b> |
| サポートされている支援技術 .....                             | 29        |
| HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....                        | 29        |
| <b>索引 .....</b>                                 | <b>30</b> |

# 1 製品の特長

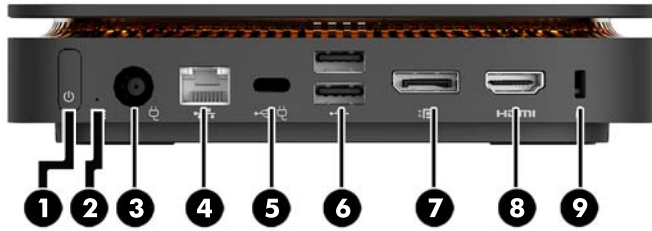
## HP Elite Slice の機能



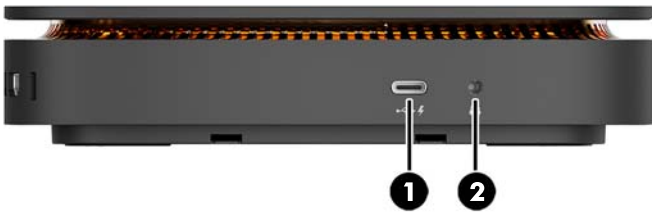
## HP Elite Slice



HP Elite Slice は単一のベース モジュールで、必須モジュールです。HP Elite Slice では別売のタッチ式の指紋認証システムを使用できます。指を滑らせる代わりに指を押し当てて指紋を読み取る方式です。指を滑らせるスワイプ式より高い精度のシステムです。



| 項目 | 名称   | 項目 | 名称                        |
|----|--|----|---------------------------|
| 1  | 電源ボタン  | 6  | USB ポート (×2)              |
| 2  | ドライブランプ  | 7  | デュアルモード DisplayPort (D++) |
| 3  | 電源コネクタ   | 8  | HDMI 出力端子                 |
| 4  | RJ-45 (ネットワーク) コネクタ                              | 9  | セキュリティケーブル用スロット           |
| 5  | USB Type-C ポート<br>60 W 入力、DisplayPort<br>15 W 出力 |    |                           |



| 項目 | 名称                        | 項目 | 名称                 |
|----|---------------------------|----|--------------------|
| 1  | USB Type-C ポート<br>15 W 出力 | 3  | タッチ式の指紋認証システム (別売) |
| 2  | ユニバーサル オーディオ コネクタ         |    |                    |



## HP コラボレーションカバー

HP Elite Slice は、別売の HP コラボレーションカバーとともに購入できます。コラボレーションカバーを使用すると、静電容量方式タッチ ボタンで電話会議の無線通信を行うことができます。このカバーにスピーカーやマイクは搭載されていません。スピーカーおよびマイクは、HP オーディオモジュール（別売）に内蔵されています。



| 項目 | 名称        | 項目 | 名称      |
|----|-----------|----|---------|
| 1  | 応答/通話     | 4  | 音量上げ    |
| 2  | ミュート (消音) | 5  | 拒否/通話終了 |
| 3  | 音量下げ      |    |         |

## HP トライバンド無線充電カバー

HP Elite Slice は、別売の HP トライバンド無線充電カバーとともに購入できます。この充電カバーは、対応する無線充電デバイスに無線充電領域を提供します。業界標準の充電技術である Qi、PMA、および A4WP の3つがサポートされています。

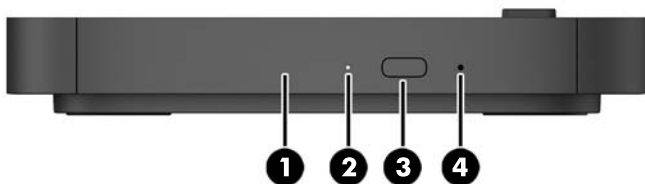


| 名称    | 説明  |
|-------|---|
| 充電ランプ | 白色に点灯 = 充電完了<br>オレンジ色に点灯 = 充電中<br>オレンジ色で点滅 = エラー<br>白色で点滅 = ファームウェア更新の実行中<br>消灯 = 充電されていません |

## HP ODD モジュール



別売の HP ODD モジュールにより、オプティカルドライブ機能が追加されます。電源および電源供給を受けるモジュールの合計数に応じて、HP Elite Slice の構成に追加のオプティカルドライブモジュールを接続できます。詳しくは、[8 ページのモジュールの接続または取り外し](#) を参照してください。



| 項目 | 名称                | 項目 | 名称                 |
|----|-------------------|----|--------------------|
| 1  | オプティカルドライブディスクトレイ | 3  | オプティカルドライブイジェクトボタン |
| 2  | オプティカルドライブランプ     | 4  | 手動イジェクト用の穴         |

## HP オーディオ モジュール

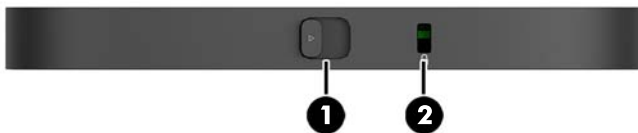


別売の HP オーディオ モジュールは、高度なサウンドシステムを特長としています。このオーディオモジュールは、コラボレーションカバーの機能をサポートするために必要なスピーカーおよびマイクを提供します。

## HP VESA プレート



HP VESA プレートを使用すると、HP Elite Slice アセンブリをモニター、壁、机などに取り付けることができます。



図：背面、底部（VESA 準拠の取り付け穴）

| 項目 | 名称          | 項目 | 名称                 |
|----|-------------|----|--------------------|
| 1  | クイックリリースラッチ | 2  | セキュリティロックケーブル用スロット |

## シリアル番号の記載位置

各コンピューターには固有のシリアル番号および製品識別番号があり、HP Elite Slice の底面にレーザーで刻印されています。ケースの内部にはこれらのラベルのコピーがあります。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。




## 2 セットアップ

### モジュールの接続または取り外し

HP Elite Slice には、オプティカルドライブ (ODD) モジュール、オーディオモジュール、および VESA プレートの 3 種類のモジュールを接続できます。モジュールは、以下の順序でベースモジュールに接続する必要があります。

- HP ODD モジュール
- HP オーディオモジュール
- HP VESA プレート

オプティカルドライブモジュールおよびオーディオモジュールは、電源供給を受けるモジュールです。HP Elite Slice に接続できるオーディオモジュールは 1 つだけです。ただし、AC アダプターによっては、オプティカルドライブモジュールは複数接続できる場合があります。

 **注記：** AC アダプターのラベルで、供給される電源を確認してください。

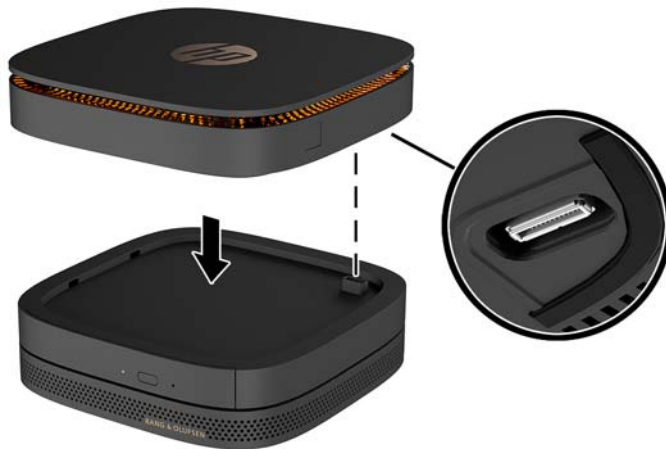
- HP トライバンド無線充電カバーに付属している 90 W の AC アダプターでは、電源供給を受けるモジュールを 4 つまで HP Elite Slice に接続できます。
  - 最大 3 つのオプティカルドライブモジュールと 1 つのオーディオモジュールまたは
  - 最大 4 つのオプティカルドライブモジュール (オーディオモジュールなし)
- 65 W の AC アダプターでは、電源供給を受けるモジュールを 2 つまで HP Elite Slice に接続できません。
  - 1 つのオプティカルドライブモジュールと 1 つのオーディオモジュールまたは
  - 最大 2 つのオプティカルドライブモジュール (オーディオモジュールなし)

## モジュールの接続

**△ 注意：** モジュールを接続する前に、HP Elite Slice の電源を切り、すべての電源から切り離します。

モジュールのホットプラグやホットスワップはできません。

1. セキュリティロックケーブルが取り付けられている場合は取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアを取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンして HP Elite Slice の電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. HP Elite Slice から電源コードを抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
5. VESA プレートが接続されている場合は、クイックリリースラッチをロック解除位置にスライドさせて、VESA プレートを取り外します。
6. HP Elite Slice の底面のモジュール接続コネクタと別のモジュール上のモジュール拡張コネクタの位置を合わせ、HP Elite Slice をしっかりと押し下げます。



モジュールどうしがロックされる時、小さなクリック音が聞こえます。各モジュールが所定の位置にロックされ、各モジュールのリリースラッチはその下のモジュールで隠されます。

すべてのモジュールが接続されるまで繰り返します。

7. VESA プレートのクイックリリースラッチをロック解除位置にスライドさせます (1)。接続済みのモジュールを VESA プレートの上に置きます。

VESA プレートにはモジュール拡張コネクタはありません。HP Elite Slice のコネクタと、VESA プレートのクイックリリースラッチおよびセキュリティロックケーブル用スロットが、すべて同じ側面に並ぶようにしてください。

8. モジュールを VESA プレート上に押し下げます (2)。



9. VESA プレートの背面にあるクイックリリースラッチをロック位置にスライドさせて、すべてのモジュールをまとめてロックします。

**⚠ 注意：** VESA プレートには 4 つのタブがあります。HP Elite Slice 構成を VESA プレート上に正しく置き、クイックリリースラッチをロック位置にスライドさせると、VESA プレートは 4 つのタブによって HP Elite Slice アセンブリにロックされます。VESA プレートの向きが正しくない場合、クイックリリースラッチをロック位置に移動することはできず、モジュールは固定されません。



10. クイックリリースラッチがロック解除されてモジュールが切り離されることを防ぐために、VESA プレートのセキュリティロックケーブル用スロットにセキュリティロックケーブルを取り付けます。

**📝 注記：** セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。



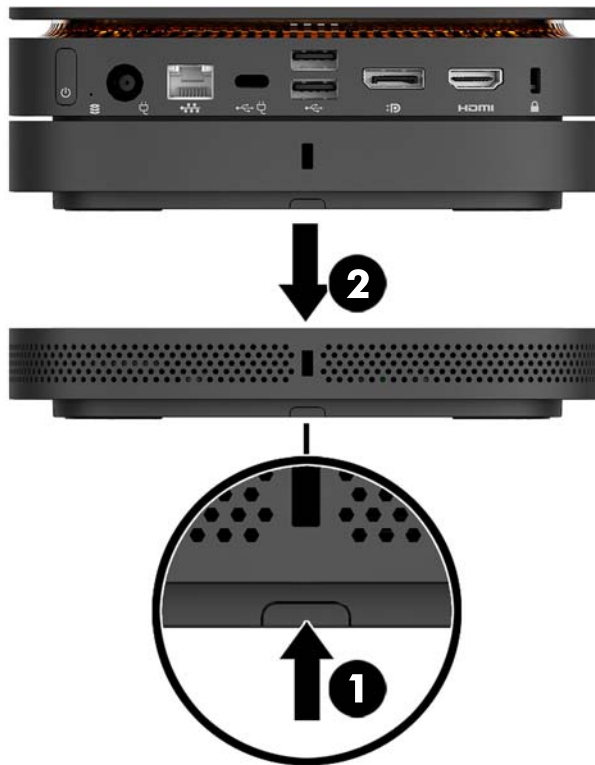
## モジュールの取り外し

**△ 注意：** モジュールを取り外す前に、HP Elite Slice の電源を切り、すべての電源から切り離します。

モジュールのホットプラグやホットスワップはできません。


モジュールは一度に1つずつ、下から順に取り外す必要があります。一番下のモジュールを取り外すと、その上にあるモジュールのリリースラッチが現れます。

1. セキュリティロックケーブルが取り付けられている場合は取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアを取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンして HP Elite Slice の電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. HP Elite Slice から電源コードを抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
5. VESA プレートが接続されている場合は、VESA プレートの背面にあるクイックリリースラッチをロック解除位置にスライドさせ、積み重ねられているモジュールを持ち上げて VESA プレートから外します。
6. 一番下のモジュールの底面にあるリリースラッチを押して (1)、その上のモジュールから解放します (2)。このようにして、追加したモジュールを下から順に取り外します。




## 電源の接続

HP Elite Slice は、HP モニターの電源供給機能付きコネクタに接続できます。または、HP Elite Slice に付属している HP アダプターを使用して電源コンセントに接続できます。HP から入手されたものでない電源装置は拒否されます。

 **注記：** 特定の電源負荷条件では、製品の安全規定に従うために一部の USB ポートが一時的に無効になる場合があります。

電源コンセントに接続するには、以下の操作を行います。


1. 電源コードを AC アダプターと電源コンセントに接続します。

 **重要：** HP Elite Slice を電源コンセントに接続するときは、HP Elite Slice に付属している HP アダプターを使用する必要があります。

2. HP Elite Slice の背面にある電源コネクタに AC アダプターを接続します。

60 W 以上を供給できる電源供給機能付きコネクタを備えた HP モニターがある場合は、電源コンセントにではなくモニターに HP Elite Slice を接続できます。

1. HP Elite Slice を外部電源から切り離します。

 **注記：** HP Elite Slice は、電源供給機能付きコネクタと電源コンセントの両方に接続されている場合、外部電源を使用します。

2. USB Type-C ケーブル（別売）の一方の端を HP Elite Slice 背面の USB Type-C ポートに接続します。
3. ケーブルのもう一方の端を、HP モニターの電源供給機能付きコネクタに接続します。

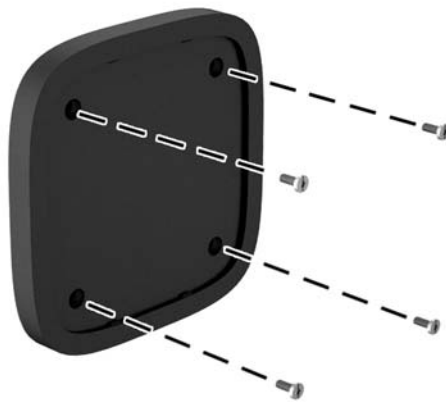
## 取り付け器具への HP Elite Slice の取り付け

VESA プレートが接続されている場合は、HP Elite Slice をモニター、壁、または机に次のどちらかの向きで取り付けることができます。

- 垂直
- 水平。コンピューターの背面に接続されているすべてのケーブルがまっすぐ下へ垂れるようにする

HP Elite Slice を取り付けるには、以下の操作を行います。

1. VESA プレートを除くすべてのモジュールを接続します。
2. VESA プレートに付属している 4 本のネジを使用して、モニターまたはその他の面に VESA プレートを取り付けます。



HP Elite Slice を水平に取り付ける場合は、必ずクイックリリース ラッチを下に向けて VESA プレートを配置してください。すべてのコードおよびケーブルがコネクタからまっすぐ下へ垂れるようにする必要があります。

3. VESA プレートにモジュールを慎重に接続します。

4. VESA プレートの背面にあるクイックリリースラッチをロック位置にスライドさせて、VESA プレートをその上のモジュールに固定します。

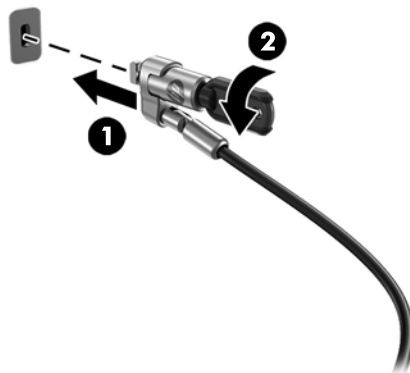


**注記**： VESA プレートの背面にセキュリティロックケーブルを接続して HP Elite Slice アセンブリを保護することを強くおすすめします。これはクイックリリースラッチがロック解除位置に移動することを防ぎ、モジュールが誤って解放されないようにします。

セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

## セキュリティロックケーブルの取り付け

以下の図に示す 10 mm ウルトラスリム型セキュリティロックケーブルは、コンピューターを保護するために使用できます。このケーブルを一番下のモジュールに取り付けると、すべてのモジュールがまとめてロックされます。VESA プレートが取り付けられている場合は、クイックリリースをロック位置にスライドさせ、セキュリティロックケーブルを取り付けて、すべてのモジュールをまとめてロックします。

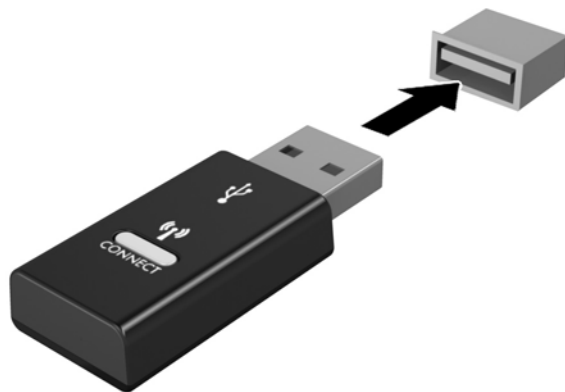


**注記**：セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

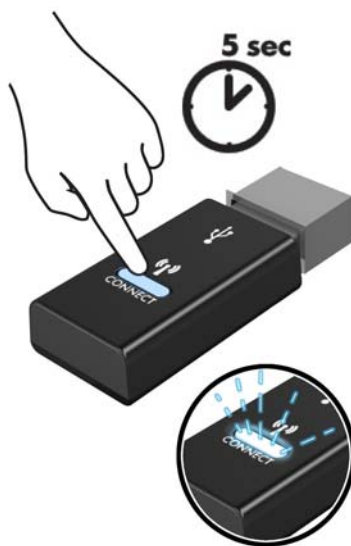
## 別売の無線キーボードおよびマウスの同期

マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。これらが動作しない場合、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが動作しない場合は、以下の操作を行って、ペアリングを手動で同期しなおしてください。

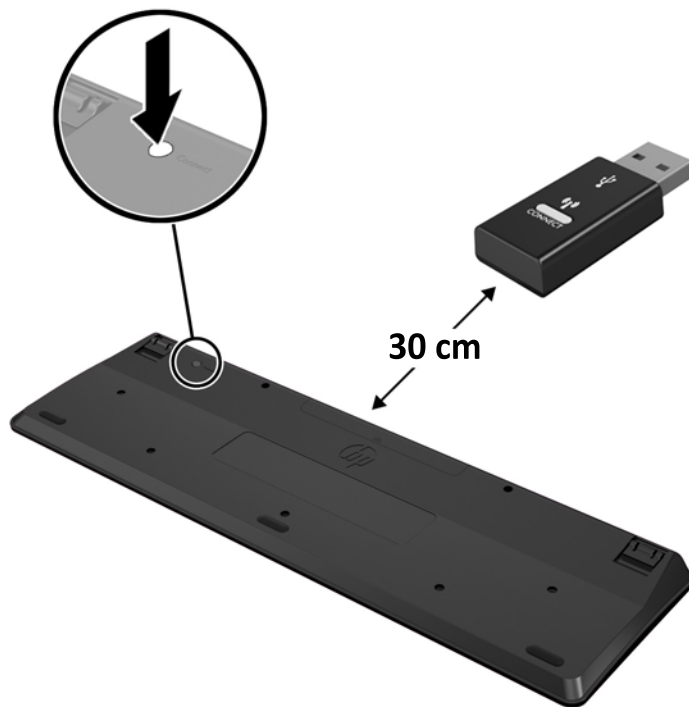
1.



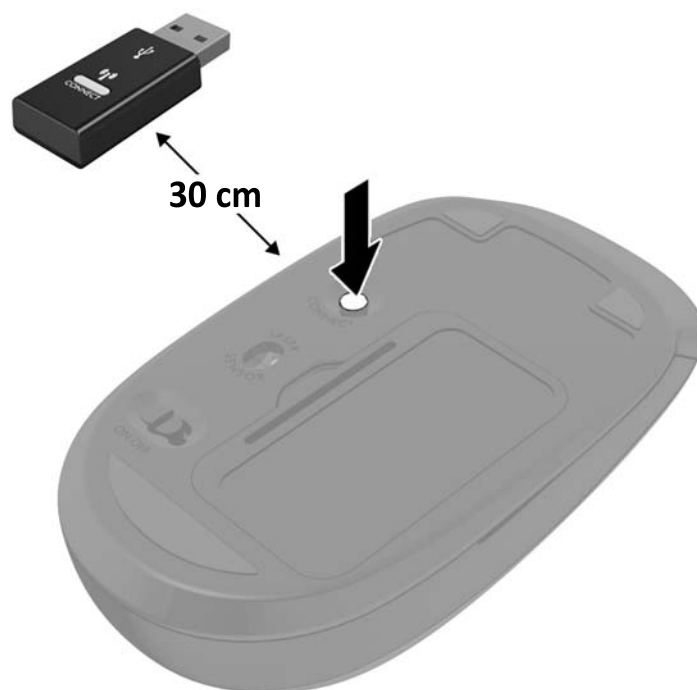
2.




3.



4.



 **注記：** それでもマウスおよびキーボードが動作しない場合は、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、キーボードおよびマウスの同期をやり直してください。

# 3 ハードウェアのアップグレード

## 保守機能

このコンピューターには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。

## 警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

**⚠ 警告！** 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- カバーやパネル等を取り外す前に、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。内部には通電する部品や可動部品が含まれています。
- 作業を行う前に、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 装置の電源を入れなおす前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体のリアパネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方について説明し、快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドラインを提供しています。また、電気的および物理的安全基準に関する情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択することで表示できます。

**⚠ 注意：** 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[26 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

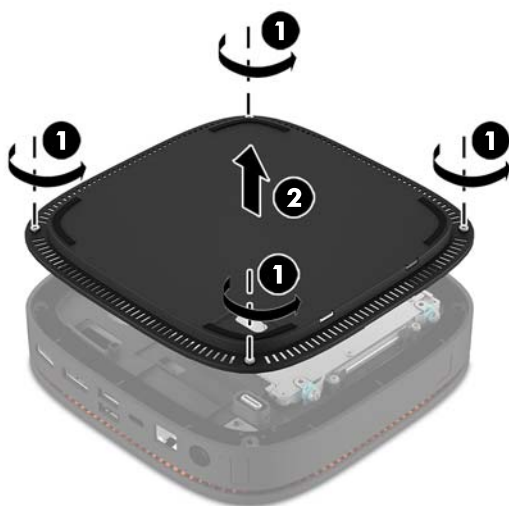
コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

# アクセスパネルの取り外しおよび取り付けなおし

## アクセスパネルの取り外し

ハードディスクドライブおよびシステム メモリ モジュールにアクセスするには、HP Elite Slice のアクセスパネルを取り外す必要があります。

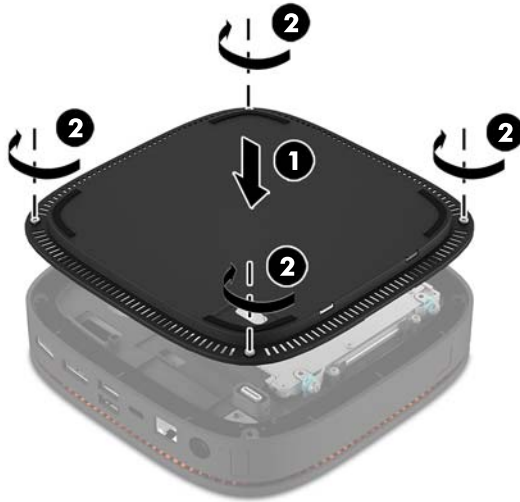
1. HP Elite Slice から追加したモジュールをすべて取り外します。  
手順については、[11 ページのモジュールの取り外し](#)を参照してください。
2. コンピューターの傷やその他の損傷を防ぐため保護するために、平らな場所に柔らかい布を敷き、コンピューターの底面が上になるように置きます。
3. アクセスパネルを固定している 4 本の固定用ネジを緩め (1)、パネルを持ち上げてコンピューターから取り外します (2)。





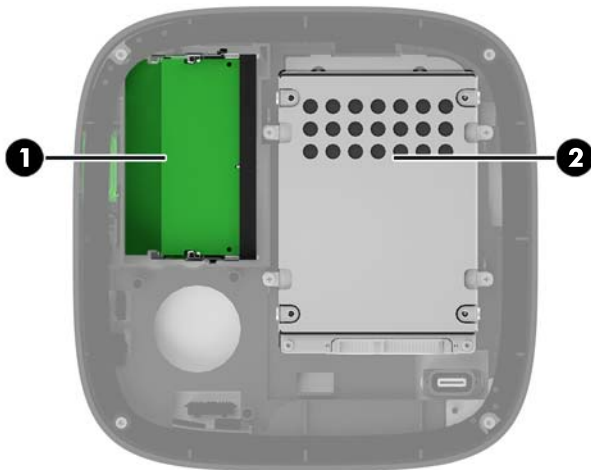
## アクセスパネルの取り付けなおし

1. 平らな場所に柔らかい布を敷き、コンピューターの底面が上になるように置きます。
2. コンピューターにアクセスパネルの位置を合わせて(1)、アクセスパネルの開口部からモジュールの接続コネクタがはっきり見えるようにします。
3. 4本の固定用ネジを締めて(2)、アクセスパネルをコンピューターに固定します。



4. 追加のモジュールを接続しなおします。  
手順については、[8ページのモジュールの接続または取り外し](#)を参照してください。

## 内部部品の位置



| 項目 | 名称           | 項目 | 名称          |
|----|--------------|----|-------------|
| 1  | システムメモリモジュール | 2  | ハードディスクドライブ |

# システムメモリのアップグレード

システムボード上にあるメモリモジュールスロットには、業界標準のメモリモジュールを2つまで取り付けることができます。少なくとも1つのスモールアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) があらかじめ取り付けられています。最大容量のメモリ構成にするために、システムボードにメモリを 32 GB (16 GB x 2) まで増設できます。

## メモリモジュールの仕様


システムのパフォーマンスを最大まで高めるには、以下の仕様を満たす SODIMM を使用することをおすすめします。

- 業界標準の 288 ピン
- アンバッファード非 ECC PC4-17000 DDR4-2133 MHz 準拠
- 1.2 ボルト DDR4-SDRAM SODIMM
- CAS レイテンシ 15 (DDR4/2,133 MHz、15-15-15 タイミング) をサポートしている
- JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している

このコンピューターでは以下の機能やデバイスがサポートされます。

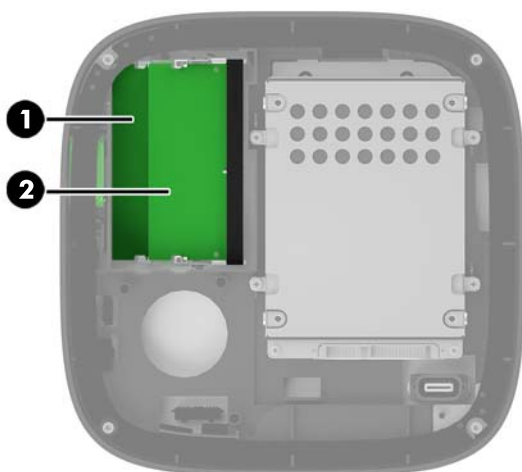
- 512 メガビット、1 ギガビット、および 2 ギガビットの非 ECC メモリテクノロジー
- 片面および両面 SODIMM
- x8 および x16 のデバイスで構成された SODIMM

---

 **注記：** 互換性の問題を防ぐために、このコンピューターでは HP のメモリモジュールのみを使用することをおすすめします。サポートされない DIMM メモリが取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。x4 SDRAM で構成された DIMM はサポートされません。

---

## メモリ モジュール スロットへの取り付け



メモリ モジュール スロットは2つあります（チャンネル当たり1つ）。スロットには、DIMM1 および DIMM3 の番号が付けられています。DIMM1 スロットはメモリ チャンネル B で動作し、DIMM3 スロットはメモリ チャンネル A で動作します。

| 番号 | 説明                 | システム ボード ラベル | スロットの色 |
|----|--------------------|--------------|--------|
| 1  | メモリ 1 スロット、チャンネル B | DIMM1        | 黒      |
| 2  | メモリ 3 スロット、チャンネル A | DIMM3        | 黒      |

取り付けられているメモリ モジュールに応じて、システムは自動的にシングルチャンネルモード、デュアルチャンネルモード、またはフレックスモードで動作します。

- 1つのスロットにのみメモリ モジュールが取り付けられている場合、システムはシングルチャンネルモードで動作します。
- チャンネル A とチャンネル B のメモリ モジュールの容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアルチャンネルモードで動作します。
- チャンネル A とチャンネル B のメモリ モジュールの容量が等しくない場合、システムはフレックスモードで動作します。フレックスモードでは、最も少ないメモリ容量が取り付けられているチャンネルがデュアルチャンネル動作に割り当てられるメモリの合計容量を決定し、残りはシングルチャンネル動作に割り当てられます。フレックスモードでは、容量の大きい方のメモリ モジュールを DIMM3 スロット（チャンネル A）に取り付けてください。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いメモリ モジュールによって決定されます。

## システムメモリモジュールの取り付け

**⚠注意：**メモリモジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードを完全に破損するおそれがあります。

お使いのメモリモジュールスロットの接点には、金メッキが施されています。メモリを増設するときには、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリモジュールは金メッキのものを使用してください。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションカードの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[26 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

メモリモジュールを取り扱うときは、金属製の接点に触れないでください。金属製の接点に触れると、モジュールが破損するおそれがあります。

1. アクセスパネルを取り外します。


手順については、[18 ページのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。

2. メモリモジュールを取り出すには、メモリモジュールの両側にある 2 つのラッチを外側に押し (1)、スロットからメモリモジュールを引き出します (2)。



- 新しいメモリ モジュールを約 30°の角度でスロットに差し込み (1)、メモリ モジュールをスロットに押し込んで (2) ラッチを所定の位置に固定します。




 **注記：**メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロットのタブを合わせます。

- アクセスパネルを取り付けなおします。

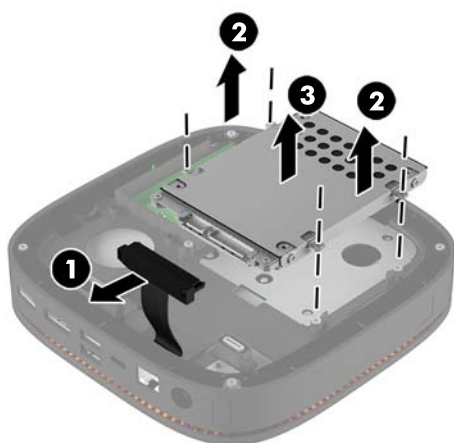
手順については、[19 ページのアクセスパネルの取り付けなおし](#)を参照してください。

コンピューターの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

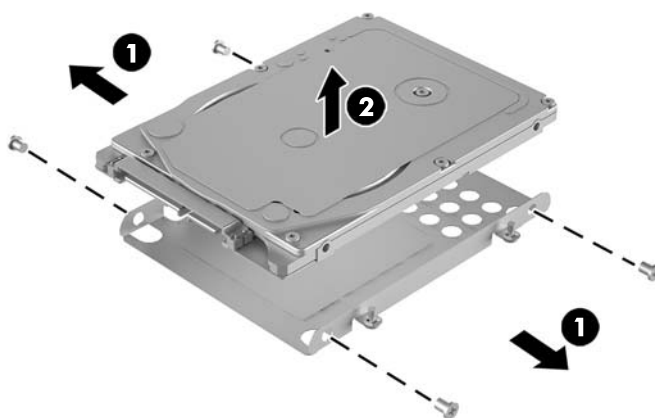
## ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け

 **注記：** ハードディスクドライブを取り外すときは、新しいハードディスクドライブにデータを移動できるように、事前にバックアップをとってください。

1. アクセスパネルを取り外します。  
手順については、[18 ページのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。
2. タブを引き (1)、ハードディスクドライブの電源データ一体型ケーブルをハードディスクドライブから抜きます。
3. ハードディスクドライブケースをボードに固定している 4 本のネジを取り外し (2)、ケースを持ち上げて (3) シャーシから取り出します。

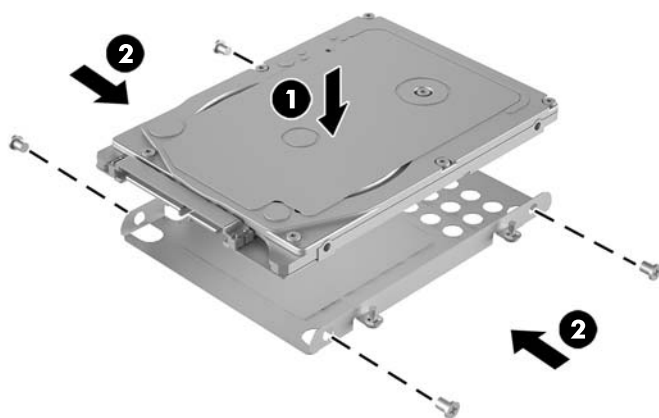


4. ハードディスクドライブをケースに固定しているネジを取り外し (1)、ハードディスクドライブを持ち上げて (2) ケースから取り出します。

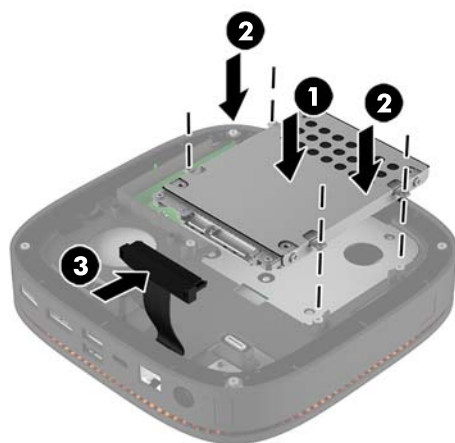


5. ドライブケース上で、新しいハードディスクドライブのサーマルパッチ側コネクタおよび回路基板側がドライブケースの閉じた側に来るように向きを合わせます。

- 新しいハードディスクドライブをケースに入れます (1)。ハードディスクドライブのラベル側が見えていることを確認します。
- 4本のネジを締めて (2) ハードディスクドライブをケースに固定します。



- ハードディスクドライブケースをシャーシに取り付けなおします (1)。ハードディスクドライブのコネクタをシャーシの背面に向けてください。
- ドライブケースのタブとシャーシのネジ支柱の位置を合わせ、4本のネジを締めて (2) ハードディスクドライブを固定します。
- ハードディスクドライブに電源データ一体型ケーブルを接続しなおします (3)。



- アクセスパネルを取り付けなおします。  
手順については、[19 ページのアクセスパネルの取り付けなおし](#)を参照してください。

# A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。

## 静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。


- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

## アース（接地）の方法

静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアース（接地）を行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



## B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

### コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、安定した平らな場所に設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面およびモニターの上部に、少なくとも 10 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなりますので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどれかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニター上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールまたは有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
  - コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
  - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

## 運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。


---

 **注記：** ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

---

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

---

 **注記：** すべてのスロットに保護用部材がしっかりとはめ込まれていることを確認します。

---


6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

## C ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

### サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

### HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

# 索引

- H**  
HP Elite Slice の機能 1  
HP Elite Slice の取り付け 13  
HP ODD モジュール 5  
HP VESA プレート 6  
HP オーディオ モジュール 6  
HP コラボレーションカバー 3  
HP トライバンド無線充電カバー 4
- V**  
VESA プレートの機能 6
- あ**  
アクセスパネル  
取り付けなおし 19  
取り外し 18
- う**  
運搬時の注意 28
- お**  
オーディオ モジュールの機能 6  
オプティカルドライブ モジュールの機能 5
- き**  
キーボード、無線の同期 15  
機能  
VESA プレート 6  
オーディオ モジュール 6  
オプティカルドライブ モジュール 5  
コラボレーションカバー 3  
ベースモジュール 1  
無線充電カバー 4
- け**  
警告 17
- こ**  
交換  
システムメモリ 22  
コラボレーションカバーの機能 3  
コンピューター操作のガイドライン 27
- し**  
仕様、システムメモリ 20  
シリアル番号の記載位置 7
- せ**  
静電気対策、損傷の防止 26  
製品識別番号の記載位置 7  
セキュリティロックケーブル、取り付け 14  
セットアップ 8
- ち**  
注意 17
- つ**  
通気のガイドライン 27
- て**  
電源の接続 12
- と**  
取り付け  
ガイドライン 17  
システムメモリ 20, 22  
セキュリティロックケーブル 14  
ハードディスクドライブ 24
- 取り付けなおし  
アクセスパネル 19
- 取り外し  
アクセスパネル 18  
ハードディスクドライブ 24  
モジュール 11
- な**  
内部部品 19
- は**  
ハードディスクドライブ  
取り付け 24  
取り外し 24
- へ**  
ベースモジュールの機能 1
- ま**  
マウス、無線の同期 15
- む**  
無線キーボードおよびマウスの同期 15  
無線充電カバーの機能 4
- め**  
メモリ、システム  
交換 22  
仕様 20  
スロット 20  
スロットへの取り付け 21  
取り付け 20, 22
- も**  
モジュール  
接続 9  
取り外し 11  
モジュールの順序 8

モジュールの接続 9

**ゆ**

ユーザー サポート 29